

だんだんと弾きっ子親睦パーティーも盛り上がってきましたね。次回はいよいよ第10回！まだ日程は決まっていますが、10月頃の予定です。弾きっ子親睦パーティーも目指せ100回ですね！さて、7月からみなさんご存知のジョニー大友さんが能見台と鎌倉のヤマハで講師としてスタートしました。みなさん応援よろしくお願ひいたします！ギター最高♪

■べんぞうさんとニュータイプ

べんぞうさんとニュータイプ。一体何の話？これはギターをやっていく上で必要不可欠な思考能力についての話です。

◆べんぞうさん◆

練習熱心でがんばりやさん。練習にける時間は誰にも負けない。しかし、練習時間＝レベルUPと考えているのが少し残念。効率悪い練習をすることも多々あり。

◆ニュータイプ◆

効率化を重視し、上達のポイントを見抜く力を持っている。コツを掴むのは早いですが、練習しなくても比較的すぐ出来ちゃうので、練習不足になりあまり上達しない可能性もあり。

さて、あなたはどっちのタイプでしょうか？

もちろんこの2タイプしかないわけではないので、どちらとも言えない人もいっぱいいるでしょう。とりあえず極端に分けるとこの2タイプかな。

そしてギター上達に必要なのは【ニュータイプ】の要素です。いかに効率の良い練習をするか、いかにコツを見つけるか、まず身につけるべきことがこの2つ。どんなに練習しようとしても、コツを掴まずに時間だけ費やしても意味がありません。

■ニュータイプになるには？

ニュータイプの人って、結構少ないかもしれません。

僕の適当に作ったニュータイプ診断はこちら↓↓↓

1. 数学が得意（数学というより算数？）
2. ものまねが得意
3. やることにはとことんこだわる
4. 間違い探しが得意
5. 記憶力に自信がある
6. いろんなことに興味がある
7. 妄想するのが好き
8. いろんな図解が好き（見るのも作るのも）
9. 基礎練習メニューを作るのが得意
10. 夕飯の準備はすばやく出来る

以上10項目の中に当てはまるものが6つ以上あれば、あなたもニュータイプ要素は十分です！

しかし、ニュータイプだけではまだまだ不十分。

さて、ニュータイプへの道のりはなかなか大変かもしれませんが、ぜひがんばって身につけて頂きたいと思います。

1. 法則をみつける

どんなものでも法則をみつけてみましょう。法則といっても難しく考える必要はありません。自分なりの法則でいいのです。運指を覚えるのも、丸暗記ではなく法則化。共通点を探すのです。きれいな共通点でなくても自分なりにアレンジして共通点、法則を作り出します。

2. ものまねをする

ものまねをすること、すなわちコツをつかむこと。どうやればそういう声が出るのか、どうやればああいうしぐさができるのか？などなど、色々考えることがあります。そして、そういう作業をすることが【見る目】を作り出していくのです。

3. 理論よりも感覚を重視する

理論は大事。しかし理論だけでは全く役に立ちません。知識があってもそれを活かしてなければただの雑学にすぎません。まずは見る、聴く、真似る、やる、そして経験とともに理論を学ぶ。とにかくやってみる事です。感覚的な理解を磨きましょう。

4. 脳トレをしてみよう

やっぱり右脳を活用しましょう。ニュータイプは右脳を活用出来ている人。イメージ力や応用力、その他もろもろギター演奏に必要な不可欠の能力が右脳にはたっぷり詰まっています。普段から意識して右脳を使うようにしてみましょう。右脳開発トレーニングについて知りたい方は僕まで。

■べんぞうさんも大事だよ

ニュータイプになったら、次はべんぞうさんになりましょう。上達のコツを見つけられて、その上で練習時間をしっかり作れるようになればもう無敵。なんだかんだ言っても、練習時間がなければ上達も難しい。短時間での急速な上達は可能だけど、その時間すら取らない人も結構いるんです。自分の上達に必要な時間はしっかり取りましょう。1日何時間くらい取ればいいでしょうか？なんていう質問はやめましょう。そういう思考をしているということは、ニュータイプになっていない証拠。その時々で時間は違うし、やる内容も違う。だけど、必要なことはやっている。それが理想的なんですね。